

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	健康栄養学部 (食品開発)		
科目名称 [英語名称]	英語Ⅱ [EnglishⅡ]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	141800	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	1年次
教員氏名	福田 稔			学位授与の方針 との関連	DP1(1)(2),2(1)(2)		
授業概要	<p>前期の英語Ⅰと同じく、下記の内容で授業を行う。</p> <p>(1) 科学に関する英文を読んで理解する読解力を養うことがこの授業の大きな目標である。人間、自然、科学についてのトピックに関する英文を読みながら科学英語への導入を行う。</p> <p>(2) 英語の読解力を身に付け、単語の使い分けを理解する。それと同時に英語の学習・勉強法について学ぶ。</p> <p>(3) 演習形式なので、予習は不可欠である。授業にはテキストだけでなく英和辞典を持参すること。</p>						
関連する科目	事前に履修すべき科目は特にないが、英語の実践力を高めるために英会話Ⅰや英会話Ⅱの履修を勧める。						
授業の進め方と方法	受講生全員が参加する方式を採るので、忙しい授業である。毎回の授業では、まず、教員による文法事項の説明に続いて、重要語句の意味を受講生が板書する発表を行う。次に、アクティブラーニングのジグソー法によって内容を理解し、ワークシートを提出して頂く。ワークシートに記入するため、鉛筆や赤ペンなどの筆記具が必要である。各自準備しておくこと。最後に、テキストのPracticeの問題を解いて、答えを受講生が板書する発表を行う。						
授業計画	<p>1 ガイダンス：前期の復習と後期の授業について</p> <p>2 テキストLesson 4 Graphs and Functions, Part 1 Coordinates</p> <p>3 テキストLesson 4 Graphs and Functions, Part 2 Graphs of Linear Equations</p> <p>4 テキストLesson 4 Graphs and Functions, Part 3 Quadratic Equations</p> <p>5 ワークブックの問題演習</p> <p>6 テキストLesson 7 Heat, Part 1 Conductors and Insulators</p> <p>7 テキストLesson 7 Heat, Part 2 Convection</p> <p>8 テキストLesson 7 Heat, Part 3 Radiation</p> <p>9 ワークブックの問題演習</p> <p>10 テキストLesson 9 Ions, Part 1 Ions</p> <p>11 テキストLesson 9 Ions, Part 2 Electrolysis</p> <p>12 テキストLesson 9 Ions, Part 3 Acid and Alkali</p> <p>13 ワークブックの問題演習</p> <p>14 英語論文の読み方</p> <p>15 総復習</p>						
授業の到達目標	<p>前期と同様に、この授業には下記の目標がある。</p> <p>(1) 科学をトピックとした英文で用いられる英語表現が理解できるようになる。</p> <p>(2) 科学をトピックとした基礎的な英文の概要や構成が理解できるようになる。</p>						
授業時間外の学修	<p>前期と同じく、下記の学修が必要となる。</p> <p>(1) 受講生にはテキストの語句の意味を調べたり、Practiceの問題を解く課題が与えられる。標準学修時間は60分ほどである。</p> <p>(2) 復習として、ネットでテキスト音声ダウンロードして活用することができる。①音声を聞きながらの黙読、②シャドーイングを繰り返すこと。標準学修時間は20分ほどである。</p>						
課題に対するフィードバック	提出されたワークシートはチェックをして、次の授業でコメントを行う。また、Practice問題などその他の課題についても授業で解説を行う。	評価方法			定期試験40点、授業での発表20点、ワークシート40点		
テキスト	前期に引き続いて、下記のテキストを使う。 書名 理工系学生のための基礎英語Ⅱ 出版社 成美堂 ISBN 9784791960378 定価 2,000円(税抜き価格)						
参考書	(1) 特に参考書は指定はしないが、英語の勉強法に興味のある方は自主的に次の本を(図書館等で借りて)読むと勉強のコツがわかるだろう。関谷英里子、『えいごのつぼ』、中経出版、2011。 (2) 授業ではテキストに加えて、英和辞典も使用するので必ず持参すること。電子辞書よりも紙の辞書の方が学習効果は高いので、ぜひ紙の辞書を利用して頂きたい。						
備考							